

確かな学びと豊かな心・健やかな体をはぐくむ **学校力向上プラン【学校評価計画書】**

堺市立晴美台中学校
校長 品川 隆一

中学校区におけるめざす子ども像

◎「自分・人を」「学ぶことを」「心と体の健康を」大切にできる子

令和7年度 重点目標

【 未来を生き抜く学力と人間力を備えた生徒の育成 】

- すべての生徒の学びを保障する学校づくり ○ 教職員も生徒も安全で安心できる学校づくり ○ 地域・保護者から信頼される学校づくり

「確かな学び」の現状

- ・静謐な環境で授業が進められており、生徒の主体性も育ちつつある。加えて、学びを生き方につなげられるよう「自ら考え表現する」生徒の育成をめざす。
- ・一人ひとりの生徒の実態に応じた指導を心がけているが、特別支援の視点からの生徒理解を継続して深めていく必要がある。
- ・ICTを活用する意欲が育ちつつあるため、継続してICTを効果的に活用し、個に応じた深い学びにつなげる取り組みを進める。

「豊かな心・健やかな体」の現状

- ・「悩みや相談事に対して親身に対応してくれる友達や先生がいる」の肯定的回答が9割を超えており、困り感を出せる関係性が構築されている。
- ・登校しにくい生徒や遅刻・欠席の多い生徒がみられる。関係諸機関との連携やいじめ防止等の組織的な取組が必要である。
- ・体育の授業に意欲的に取り組み、運動部への入部率も高い。怪我や熱中症等の予防についての自覚を高めながら体力の向上を図っている。

大項目	中項目	具体目標	具体的な取組 (●重点とする取組、★中学校区での取組)	判断基準 (評価のものさし)	評価方法	評価時期	進捗確認 (～12月)	達成状況（年度末）	
								自己評価	学校関係者評価
確かに学び	学力向上	・自主学習の習慣化 ・ICTの活用	自主学習の方法の指導 自主的に学習したくなる課題設定(授業との繋がりを意識する)	「テスト期間以外の自主学習の取組」の肯定率	アンケート	3学期	B	定期テスト前の提出物については一定の成果が見られるが、宿題以外の家庭学習の実施に課題がある。	
			ICTの活用率の向上	実施率	実践報告	3学期	B	ICTインフルエンサーを招聘し、研修等を実施しているが、活用率の向上が十分とは言えない。	
	授業改善	・考えたくなる課題の設定 ・読書の機会の充実	授業力向上研修の実施と研究授業の実施	実施率	実践報告授業学力調査結果	授業研究時	A	校内研修や授業コンセプトの共通理解をデータ分析に基づき実施できている。	
			●UDの視点からの授業改善 ★協働的な学習(教育活動)の推進	「授業は工夫され、わかりやすい」の肯定率	アンケート 成果物	3学期	A	授業改善に向けて校内研修を通じて、授業コンセプトの共有ができる。	
			●授業での言語活動の充実 授業での図書室の活用 読書習慣を養う取組	読書習慣や図書室の利用頻度	アンケート	3学期	C	図書館の利用人数について1日平均20人程度減少している。	
豊かな心・健やかな体	心の教育の充実	「自分」と「人」を大切にする豊かな人間性の育成	●成功体験の場づくり、協働的な教育活動、助け合える関係づくり	「努力を認められる」「自分にはよいところがある」の肯定率	アンケート	3学期	A	生徒が成功体験を多くできるよう様々な教育活動を実施。	
			挨拶、言葉遣い、身だしなみ、掃除の指導の推進	「挨拶・規範意識・掃除の取り組み」への肯定率	アンケート	3学期	B	全校集会や部活動総会を通じて生徒の取り組みの充実に向け推進している。	
			道徳の授業の授業力や評議会活動の向上	生徒の変容 適切な通知表記載	実践報告	3学期	B	学年で計画的に実施しているが、授業の充実に向けてさらに工夫が必要である。	
	課題解決	課題解決力の向上 (自己管理、最後までやり抜く力の育成)	生徒会、委員会活動等の充実 学校安全(防災教育・訓練)の充実 いじめ、不登校への組織的対応	生徒の変容 教職員の変容	実践報告	3学期	A	・生徒会役員が委員会議等でプレゼンテーションを行うなど活性化できた。 ・防災教育を計画的に実施。 ・校内フリースクールの組織的取り組み	
つながる教育	小中連携	小中一貫した指導体制の確立	授業交流 研修交流 支援学級交流 生徒情報・指導法などの共有	授業参観、研究授業の相互案内 合同研修の実施 支援学級交流会の実施 生徒指導担当者連絡会・校長連絡会	実践報告	3学期	A	・授業参観や合同研修を実施 ・毎月実施の生徒指導員会のを合同で開催し、情報を共有できている。	
	地域協働	PTA活動の工夫	PTA活動の工夫と実践	PTA活動の実践	実践報告 PTA実行委員会での意見聴取	3学期	A	・PTA役員と緊密にコミュニケーションを取り(校長室での座談会形式での懇話会も実施)、計画的に実施できている。	

校長より（年度末）

学校関係者評価者から（年度末）